

目次

巻頭言 「影響史」としてのピューリタニズム	大木 英夫	2
シンポジウム「戦後日本におけるキリスト教」		
主題について	鶴沼 裕子	4
戦後における大塚久雄		
— キリスト者 = 社会科学者の課題 —	柳父 圀近	6
椎名麟三 — 〈神の同労者〉の視点を持つ実存主義小説	尾西 康充	10
シンポジウム「ピューリタニズムとデモクラシー —ピューリタニズムの継承と批判」		
司会者のまとめ	千葉 眞	13
共和制イングランドの成立と『人民協約』要旨	大澤 麦	15
18世紀におけるピューリタニズムとデモクラシー		
— ヒュームにおける「デモクラシー」の哲学的基礎 —	矢嶋 直規	18
コールリッジとベンサムとカーライル	泉谷周三郎	22
論文		
『天路歷程』と『いのちの水』	佐藤 守	25
松田智雄の思想		
— 歴史とプロテスタンティズム —	村松 晋	37
新島襄と共立普通学校創設者・井上浦造	大崎 厚志	47
書評		
山本信太郎『イングランド宗教改革の社会史 —ミッド・テューダー期の教区教会』	今関 恒夫	57
千葉 眞『「未完の革命」としての平和憲法 — 立憲思想史から考える』	和田 守	59
川添 美央子『ホッブズ 人為と自然 —自由意志論争から政治思想へ—』	泉谷周三郎	61
キム・スローン著、増井 志津代訳『英国人が見た新世界』	岩井 淳	63
John Witte, Jr., <i>The Reformation of Rights - Law, Religion, and Human Rights in Early Modern Calvinism</i>	松谷 好明	65
須永 隆『プロテスタント亡命難民の経済史 — 近世イングランドと外国人移民』	田中 豊治	68
前田護郎選集 (全4巻、別巻1)	大久保正健	70
書評座談会		
古屋安雄『なぜ日本にキリスト教は広まらないのか』をめぐって		72
設立宣言	78	
学会規約	79	
役員一覧	80	
投稿規定	81	
編集後記	82	